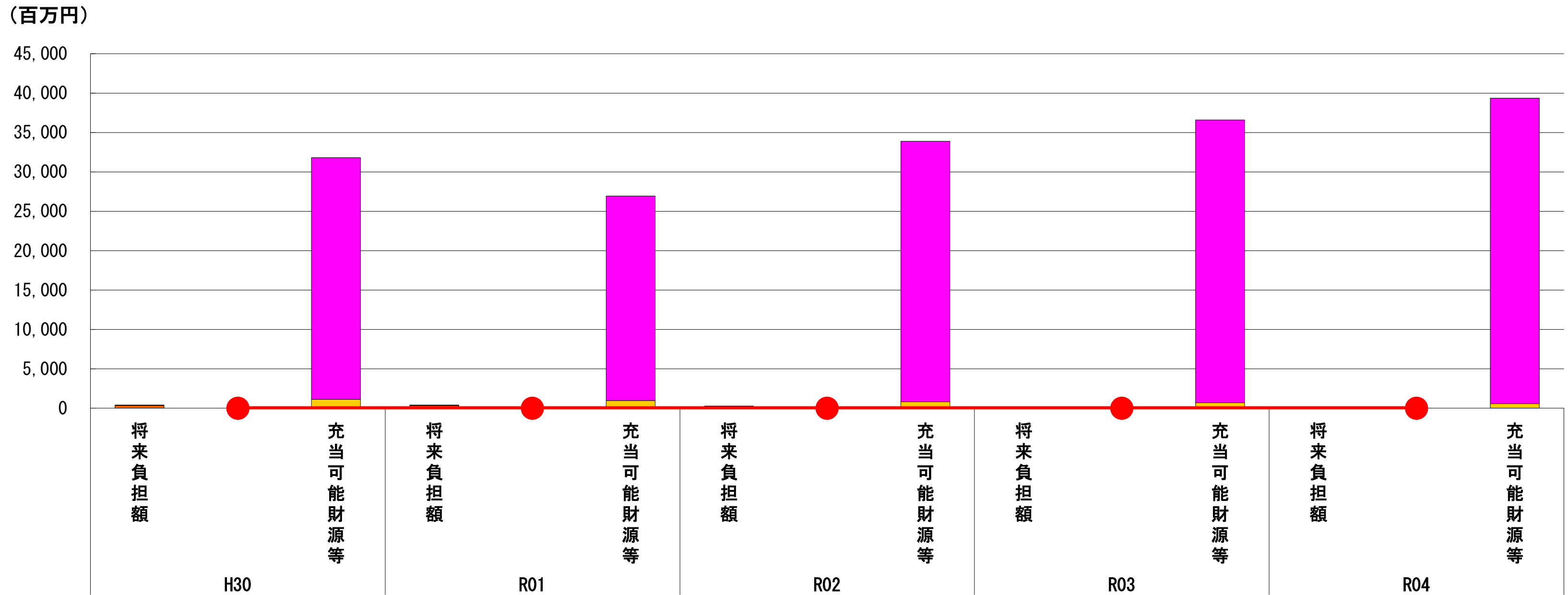


(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

福島県大熊町



(百万円)

分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		-	-	-	-	-
	組合等負担等見込額		64	53	45	37	29
	退職手当負担見込額		339	343	230	148	141
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		30,699	25,978	33,077	35,918	38,814
	充当可能特定歳入		-	-	-	-	-
	基準財政需要額算入見込額		1,108	958	819	682	554
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 31,404	▲ 26,539	▲ 33,620	▲ 36,414	▲ 39,198

分析欄

財政調整基金や一般財源を原資とした目的基金が増加傾向にあり、反対に震災前に起債した公債費の償還が全て終わり将来負担額はほぼ皆無である。

充当可能財源等が将来負担額を大きく上回っているため、将来負担比率の分子は▲39,198百万円となっている。

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。